

平成 25 年 1 月 4 日

各 位

会社名：川崎汽船株式会社  
代表者名：代表取締役社長執行役員 朝倉 次郎  
(コード番号 9107 東証第一部)  
問合せ先：経営企画グループ長 室崎 正浩  
(Tel 03-3595-5594)

平成 25 年 3 月期第 3 四半期連結会計期間 投資有価証券評価損の戻入益に関するお知らせ

「その他有価証券」に区分される投資有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復する見込みがあると認められないものについて、平成 25 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間において減損処理による投資有価証券評価損を計上いたしました。その一部の投資有価証券につき、平成 25 年 3 月期第 3 四半期連結会計期間において株価の回復が認められ投資有価証券評価損戻入益を計上することとなりましたので、お知らせいたします。

1. 平成 25 年 3 月期第 3 四半期連結会計期間における投資有価証券評価損戻入益

平成 25 年 3 月期第 3 四半期連結会計期間（平成 24 年 10 月 1 日から平成 24 年 12 月 31 日まで）の投資有価証券評価損の総額 (=A-B)	△14,338 百万円 (△：戻入益)
(A) 平成 25 年 3 月期第 3 四半期連結累計期間（平成 24 年 4 月 1 日から平成 24 年 12 月 31 日まで）の投資有価証券評価損の総額	3,650 百万円
(B) 直前四半期（平成 25 年 3 月期第 2 四半期連結会計期間）連結累計期間（平成 24 年 4 月 1 日から平成 24 年 9 月 30 日まで）の投資有価証券評価損の総額	17,988 百万円

- ※ 四半期連結会計期間における有価証券の評価方法は、洗替え方式を採用しております。
- ※ 当社の決算期末は、3 月 31 日です。

2. 今後の見通し

当社は上記の投資有価証券評価損戻入益を平成 25 年 3 月期第 3 四半期連結会計期間において特別損失の減額として計上する予定としており、第 3 四半期連結累計期間の四半期純利益を約 95 億円、押し上げる効果があります。しかしながら、当社は四半期連結会計期間における有価証券の評価方法として洗替え方式を採用しており、今後の株価水準次第では、第 4 四半期連結会計期間にて再度、今般の戻入益と同額程度の評価損計上を余儀なくされる可能性があります。従いまして、平成 25 年 3 月期通期連結業績につきましては、現時点では今般の戻入益を反映させることなく前回の公表数値から修正せず、今後の見通しを精査の上、第 3 四半期の決算発表時に公表することといたします。

以上